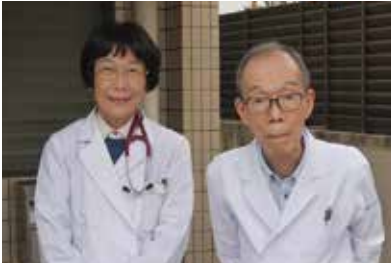


# 連携医院のご紹介

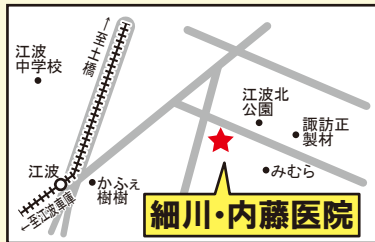
今回は地域に密着し家族のような温かい気持ちで診療されている、中区江波東にある細川・内藤医院の内藤正志院長・内藤幸子副院長にお話を伺いました。



内藤幸子副院長と内藤正志院長

## 細川・内藤医院

730-0832  
広島市中区江波東 1-13-28  
電話 / 082-291-1111  
院長 / 内藤 正志  
副院長 / 内藤 幸子  
診療科目 / 内科・小児科・皮膚科



### ○いつ開業されましたか。

先代の院長が 1950 年にこの地で細川医院を開業しました。1988 年に継承し“細川・内藤医院”に改名しました。私の父・祖父・曾祖父、その前の祖父も家庭医で、私も全人的な観点から良い治療を受けていただけるよう努力しております。

### ○力を入れている事などを教えてください。

昔からこの地で診療させていただいており、地域の方々の受診が多く、4 代にわたるご家族を診察させていただいたり、ありがたいと思うこともあります。家庭医として、地域の患者さんの往診もしており、当院のスタッフだけでなく、多くの訪問介護・訪問看護ステーションのスタッフの方々との連携を取って行なっています。

### ○毎日の診察で大切にされている事や、やりがいは何ですか？

患者さんが来院された 1 番の症状に向かい合った加療をすること、そのためにはしっかり診察・検査を行ない、必要な時は専門の病院に紹介させていただいております。患者さんに“何

でもひとまず話してみよう”と思っていただけのように、診察しております。

### ○県病院はどんなところですか。

県病院は内科・外科をはじめ多くの科でお世話になっております。特に皮膚科には、高度の皮膚生検による診断・加療をしていただき感謝しています。



細川・内藤医院外観

### 【取材後記】

患者さんやご家族、地域のために往診などもされており、温かい雰囲気クリニックでした。院長・副院長先生は何でも相談できる柔らかい雰囲気、心強いかかりつけ医だと感じました。